

■コメント

1. 感染性胃腸炎

定点当たり10.7人の報告があり、第45週以降、増加傾向で推移しています。

ノロウイルスなどを原因とする感染性胃腸炎は、例年12月に流行のピークとなる傾向にありますので、手洗いの励行、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。(次頁参照)

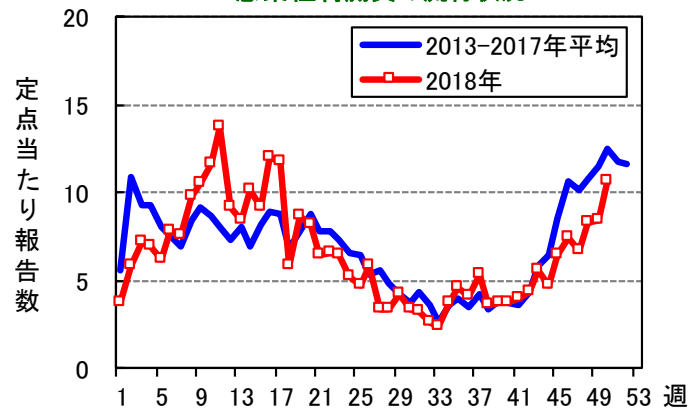
2. インフルエンザ

定点当たり1.86人の報告があり、前週と比べてやや増加しました。

3. 風しん

1件の報告があり、今年の累計は16件となりました。

感染性胃腸炎の流行状況



【参考】ノロウイルスに関するQ&Aについて(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	69	1.86	3.33	◇	小児科	流行性耳下腺炎	4	0.17	0.77	
	咽頭結膜熱	9	0.38	0.51			RSウイルス感染症	12	0.50	0.96	◇
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	81	3.38	2.93	◇		急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	感染性胃腸炎	256	10.67	12.56	◇		流行性角結膜炎	10	1.25	0.85	
	水痘	9	0.38	0.94			細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	4	0.17	0.66			無菌性髄膜炎	-	-	0.14	
	伝染性紅斑	8	0.33	0.41			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.52	
	突発性発しん	9	0.38	0.42			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.07			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	131	男性(40歳代)
4	E型肝炎	1	5	女性(60歳代)
4	つつが虫病	1	10	女性(80歳代)
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	4	男性(50歳代)
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	6	女性(70歳代)
5	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	2	女性(60歳代)
5	梅毒	2	104	女性(20歳代)、女性(50歳代)
5	風しん	1	16	男性(40歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	（ロタウイルス） 感染性胃腸炎
報告数	広島市	第46週	25	8	84	178	10	24	2	8	6	3	6	-	4	-	-	1	-	-
		第47週	31	5	74	161	14	9	6	6	4	2	6	-	5	-	-	-	-	-
		第48週	41	15	89	200	11	19	-	15	3	3	11	-	7	-	-	-	-	1
		第49週	47	5	90	202	11	4	4	6	9	1	17	-	6	-	-	-	-	1
		第50週	69	9	81	256	9	4	8	9	4	4	12	-	10	-	-	-	-	-
定点当たり	広島市	第46週	0.68	0.33	3.50	7.42	0.42	1.00	0.08	0.33	0.25	0.13	0.25	-	0.50	-	-	0.14	-	-
		第47週	0.84	0.21	3.08	6.71	0.58	0.38	0.25	0.25	0.17	0.08	0.25	-	0.63	-	-	-	-	-
		第48週	1.11	0.63	3.71	8.33	0.46	0.79	-	0.63	0.13	0.13	0.46	-	0.88	-	-	-	-	0.14
		第49週	1.27	0.21	3.75	8.42	0.46	0.17	0.17	0.25	0.38	0.04	0.71	-	0.75	-	-	-	-	0.14
		第50週	1.86	0.38	3.38	10.67	0.38	0.17	0.33	0.38	0.17	0.17	0.50	-	1.25	-	-	-	-	-
	全国	第48週	0.93	0.66	2.77	7.89	0.61	0.63	0.87	0.44	0.11	0.13	0.50	0.01	0.93	0.03	0.03	0.44	0.01	0.04
		第49週	1.70	0.66	3.07	8.86	0.60	0.62	0.96	0.42	0.11	0.13	0.51	0.02	0.94	0.02	0.03	0.37	0.01	0.04

* 百日咳は、2018年1月1日から5類感染症(全数把握疾患)に変更になりました。

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(40.6) 鼻炎	5	男	2018/11/08	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(39.5)	10	不詳	2018/11/11	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(40.5)	6	女	2018/11/12	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
感染性胃腸炎	嘔吐 嘔き気 下痢 腹痛	0	男	2018/10/29	糞便	アデノウイルス5型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 細気管支炎	10	男	2018/10/18	咽頭拭い液	百日咳菌
その他の呼吸器疾患	発熱(38.5) 気管支炎	3	男	2018/11/04	鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 肺炎	1	女	2018/11/05	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の消化器疾患	嘔吐 腹痛	2	女	2018/10/26	糞便	アデノウイルス1型
その他の疾患	発熱(40.0)	4	女	2018/11/03	咽頭拭い液	RSウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

● ノロウイルスによる感染性胃腸炎に注意しましょう ●

【予防のポイント】

◆ 手洗いの励行

調理や食事の前、トイレの後は、流水と石けんでしっかり手を洗いましょう。

◆ 食品の十分な加熱

二枚貝等ノロウイルス汚染のおそれのある食品は、中心部まで十分加熱(85～90℃で90秒間以上)しましょう。

◆ 調理器具などの消毒

調理器具などは、洗剤を使用し十分に洗浄した後、塩素系消毒剤(*)または熱湯で消毒しましょう。

◆ 便・吐物の適切な処理

患者の便や吐物には大量のウイルスが含まれていますので、処理の際には手袋やマスクを着用し、塩素系消毒剤(*)で消毒しましょう。

* 塩素系消毒剤としては家庭用塩素系漂白剤があります。使用に当たっては「使用上の注意」をよく読んで、適切な濃度に希釈して(薄めて)から使用しましょう。

【参考】消毒液の作り方と使用上の注意(次亜塩素酸ナトリウム)

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1265935032756/index.html>

海外での感染症予防について(厚生労働省検疫所FORTH) <https://www.forth.go.jp/news/20181119.html>
(海外で注意すべき感染症とその予防対策等について掲載されています。)

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2018年第50週(12月10日～12月16日)